





転倒災害事例(平成26年発生分)

作業場所の床が濡れていたため、滑って転倒した。
冷蔵庫の中で、コンテナを片付けていた際、足下が濡れて凍っていたため、足を滑らせて転倒し、手首を骨折した。
作業場を移動中、床面に落ちていた肉片に乗った際、乗った足が前方に滑ったことにより、片方の足首をひねり骨折し、転倒した。
計量作業を行っていた際、計量済の品物を渡そうとした移動したところ、通常と異なる場所に置かれていた計量器に気付かずにつまづいて転倒し、手首を骨折した。
棚と棚の一番下の段に足を掛けて、地面に降りようとしていた際、足が滑り、転倒した。転倒する際に、片足が棚に引っかかり、足首を骨折した。
会社の玄関から屋内に入ろうとした際に、足を滑らせて転倒し、ひじを痛めた。
清掃作業中、廃棄物を入れたバケツを台車に乗せて、バケツの上の方を手を置いて直進していたところ、バケツのバランスが崩れ、倒れたバケツに乗りかかるように転倒し、腕を骨折した。
床の排水用の溝に設置されていた蓋が外されていたのに気付かずに、足を入れてしまい転倒し、腰を打撲した。

